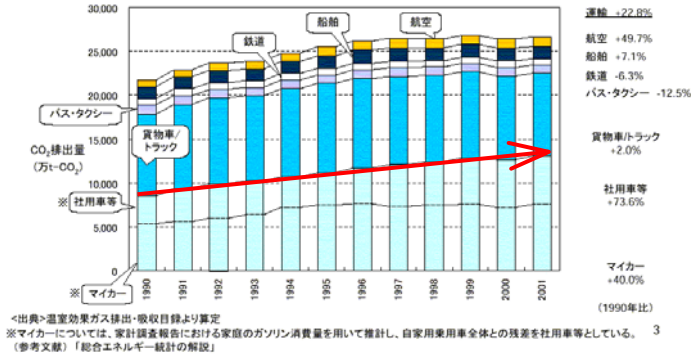


# 公共交通利用推進等マネジメント 協議会設置の趣旨等について

平成17年3月

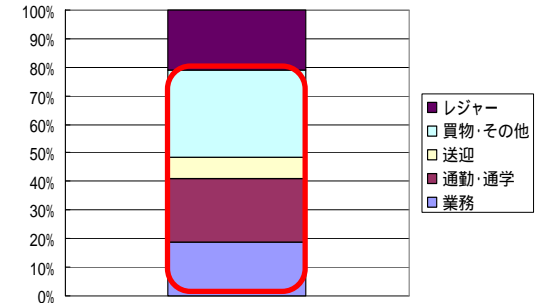
# 公共交通利用推進等マネジメント協議会について

## 運輸分野におけるCO2排出量の推移



運輸分野全体からのCO2排出量は、低燃費車・低公害車の開発・普及等の効果もあり、全体としては抑制傾向を示しているものの、自家用車については、10年間で約4割から約5割へと10ポイント急増しており対策が急務。

特に、自家用自動車交通に起因するCO2排出量のうち、通勤や業務用、買物によるマイカー使用が全体の相当数を占めている。



## 人流分野におけるCO2排出削減に向けた取組みの新たな展開

省エネ法改正  
(企業による公共交通利用推進の努力義務)

京都議定書の発効  
京都議定書目標達成計画の策定

全国レベル、各地域レベルそれぞれに設置し、企業、交通事業者、行政、利用者のパートナーシップによる取組みを推進する。

公共交通利用推進等  
マネジメント協議会

(全国) 行動指針の策定、啓発活動の実施、具体的活動・支援のあり方、CSR評価との連携等の検討  
(各地域) 行動指針の策定、具体的活動の実施

企業サイドとの連携等新しいアプローチによる公共交通利用推進等の先進的な取組みの出現

通勤交通マネジメント



低公害車等によるカーシェアリングの推進



このような新たな取組みと、公共交通機関の利便性向上等との連携による幅広い展開が求められる。

# 公共交通利用の推進に関する関係者のパートナーシップの強化

従来の取組み

公共交通機関の利便性向上に向けた  
交通事業者の取組みが中心

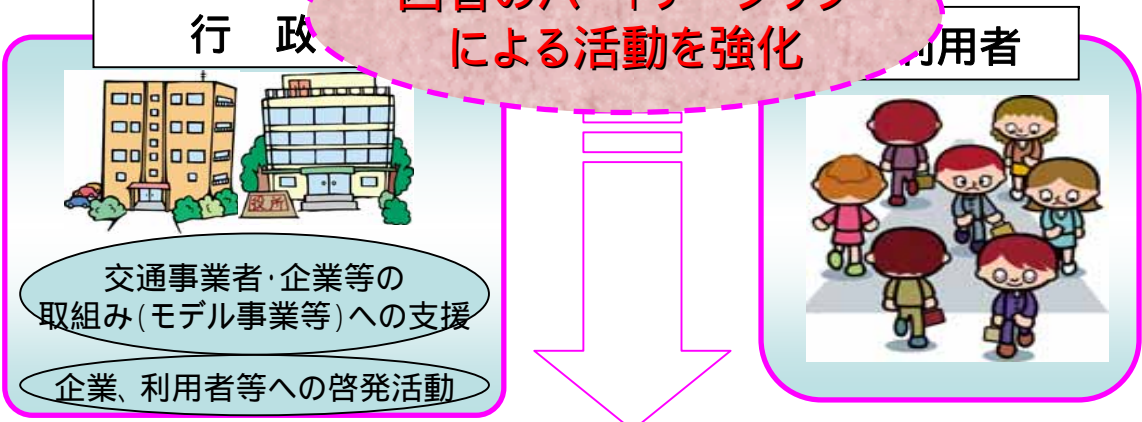
新たな取組み

企業サイドとの連携等従来にない新しいアプローチ  
による公共交通利用推進等の取組みの出現



- 低公害車等によるカーシェアリングの利用推進 (Promotion of car sharing using low-pollution vehicles, etc.)
- 通勤交通マネジメント (Commuter traffic management)
- 観光施設等と交通事業者とのタイアップ (シャトルバス、買物割引等) (Partnership with tourism facilities, etc. (shuttle buses, shopping discounts, etc.))

**四者のパートナーシップによる活動を強化**

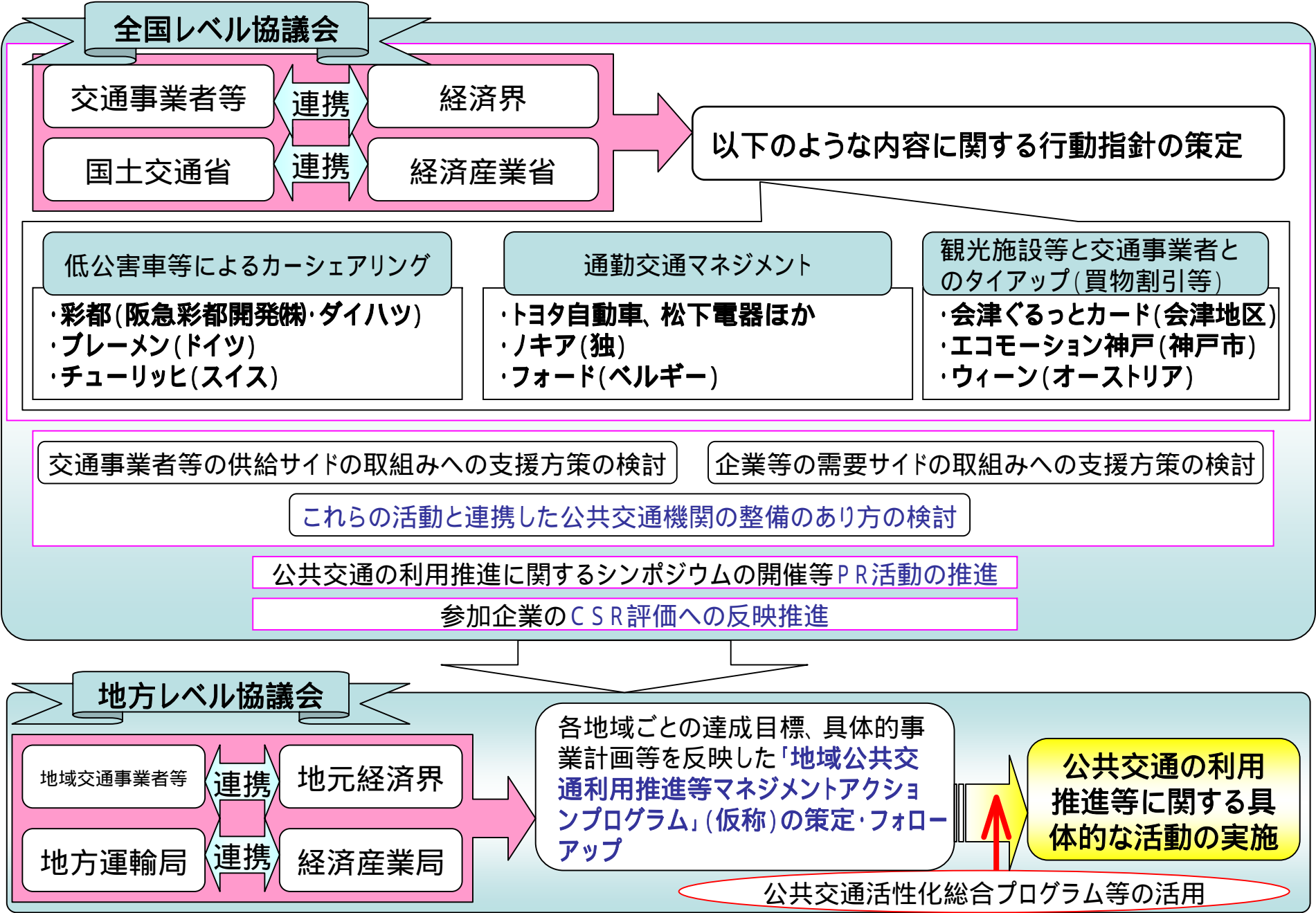


公共交通の利用推進等に関する各種活動の強化

全国・各地域に「公共交通利用推進等マネジメント協議会」を設置

公共交通機関の整備等と連携

# 公共交通利用推進等マネジメント協議会による活動のイメージ



# 公共交通の利用推進のための支援措置等の強化のイメージ

## 交通事業者への支援

### 計画・実験段階

公共交通活性化総合プログラムの活用による計画策定  
広域的な公共交通利用転換実証実験(H17年度まで)

### 事業実施段階

鉄道の整備(新線、線増、高速化等)  
バスの利便性向上(オムニバスタウン整備、シャトルバスの車両購入・実証運行、バスロケーションシステム・バス停等の整備)  
共通ICカードの導入

モード横断的な支援のあり方について検討中  
(公共交通の利用円滑化に関する懇談会)

拡大

## 企業等需要サイドの新たなアプローチによる取組みへの支援

以下のような取組みを行うモデル事業等への支援

低公害車等による  
カーシェアリング

通勤交通マネジメント・  
業務時の公共交通利用促進

観光施設等と交通事業者がタイアップした  
公共交通の利用誘導・  
推進

## 国民各層への啓発活動の推進

国による企業、利用者等国民各層への啓発活動の推進